

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

資料2-3

1 相互理解と権利擁護の推進

1 障害者への理解の促進

1 理解促進の周知・啓発

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	第4期			第5期		第6期	
1	障がい者理解促進事業	【目的】 障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重し合う機運の醸成を図る。	・「あいサポート運動」の実施にあたり、R3.11月に鳥取県と協定を締結する。 ・あいサポート研修の実施 ・あいサポート運動の周知	6・ コロナによる影響	指標(単位)	あいサポーター研修開催数 (回)						・あいサポーター研修の実施 ・あいサポート運動の周知
					計画期	第4期			第5期		第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	-			-	-	-	-	6			
	実績値	-			-	-	-	-	4			
	【評価の理由】 職員向けの研修を実施したが、市民向けの研修については、新型コロナの影響を考慮のうえ中止とし、目標に達しなかったため。											
障がい者福祉課	【概要】 多様な障がいの特性を理解し、手助けや配慮を実践することにより、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）を創っていくための行動をする「あいサポート運動」の推進を中心に、障がいへの理解を促進する。											
2	ヘルプマーク・ヘルプカードの普及	【目的】 援助や配慮を必要としている人が、援助を得やすくなることを目的とするヘルプマークとヘルプカードの普及に努める。	・窓口にて、意向確認のうえヘルプマークを交付する。	1・ 目標を達成	指標(単位)	ヘルプマーク・ヘルプカードの普及 (人)						・窓口にて、意向確認のうえヘルプマークを交付する。
					計画期	第4期			第5期		第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	-			-	-	-	-	150			
	実績値	-			-	243	219	160	151			
	【評価の理由】 ヘルプマーク等が必要な方に対し、適正に管理・交付した。											
障がい者福祉課	【概要】 義足を使用している人、内部障害や難病の人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、援助を得やすくなることを目的とするヘルプマークとヘルプカードの普及に努める。											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	人権啓発研修会等の開催数 (回)						
3	人権推進事業 人権教育推進事業	【目的】 市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。  豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。	・人権問題講演会(1回) ・人権問題指導者研修会開催(5回→4回に縮小・書面送付による開催) ・人権問題地域別研修会開催(2地域各1回・書面送付による開催) ・人権擁護委員・同和問題相談員による合同相談の実施(年8回実施) ・各地域市民まつりでの啓発活動実施(4地域→中止)	6 ・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	人権啓発研修会等の開催数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> <li>書面送付による研修会の実施や、感染対策を講じての講演会の開催など、コロナ禍における人権啓発を実施した。</li> <li>今後も、人権に係わる相談会や研修会、各種救済制度の情報提供を継続的に実施する。</li> <li>人権に関する意識調査の結果に基づき、市民の実情に沿った人権啓発を行う。</li> <li>新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別の防止のための啓発を行う。</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度	29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)				
	計画値	14	14		14	14	14	12				
	実績値	12	10		9	7	3	7				
	【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会等が縮小や中止になったことから、目標とする回数を開催することが出来なかったため。 なお、研修等の開催回数は少なくなったが、人権啓発展や人権フェスティバル、広報紙やHPによる周知、啓発により、市民の人権意識の向上に資することができた。	達成率	58.3%									
生涯学習課	【概要】 人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、人権擁護委員等と連携した同和問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会の開催などを行う。  市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。	・人権啓発展(本庁舎、各総合支所、田ヶ谷総合センターの計5か所)の実施(実施期間11月30日から12月24日) ・新型コロナウイルス感染症に関連した偏見や不当な差別防止を広く啓発するため、市オリジナルステッカーを貼付したハンドソープやウェットティッシュを市内公共施設等に配布。										

2 福祉教育の推進

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	福祉教育を計画に位置付けて実践している学校数 (校)						
4	総合的な学習の時間等における取組	【目的】 市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。	障がい児介助員の配置 ○小学校22校中21校に54名配置 ○中学校8校中7校に7名配置 ○障がい児介助員の計画的配置を行った。 難聴・言語障害通級指導教室 ○就学時健康診断で対象となった児童への二次検査の実施、入級までの保護者との円滑な相談を行う。	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	福祉教育を計画に位置付けて実践している学校数 (校)						<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間等に福祉教育を位置づけ、計画に基づいて体験的な活動も取り入れながら実践し、児童生徒の福祉への関心や理解を深める。</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度	29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)				
	計画値	-	-		-	-	-	30				
	実績値	-	-		-	-	-	25				
	【評価の理由】 車いすの体験活動等を福祉教育として行っているが、全ての小中学校において実践していないため。	達成率	83.3%									
学校教育課	【概要】 市内各小・中学校において、総合的な学習の時間等に福祉教育を位置づけ、計画に基づいて体験的な活動も取り入れながら実践し、児童生徒の福祉への関心や理解を深める。											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

2 差別解消の推進

1 差別解消に関する周知・啓発

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

5	障害者差別解消法の取組	【目的】 すべての障がい者が、基本的人権のもとに障がいを理由とする差別を受けないよう、また差別を解消するようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者であることによる差別を解消し、差別をしないよう広報紙及びホームページにより、広く市民に制度を周知</li> <li>市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」を掲示板に掲載</li> </ul>	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	法制度の周知・広報 (回)						<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙の紙面上で市民に制度の周知を行う。</li> <li>引き続きホームページと庁内掲示板で周知を図る。</li> </ul>		
	障がい者福祉課	【概要】 不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供について、広く市民に制度を周知するとともに、市職員には対応要領に基づく適切な対応を徹底する。			計画期	第4期		第5期		第6期	達成率			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度(決算)	
						計画値			3	3	3		3	
						実績値	2	3	3	3	3		3	
						【評価の理由】 ホームページで市民へ、庁内掲示板で職員へ、「障害者週間」の掲示をギャラリーで周知することができたため。							100.0%	

2 合理的配慮の提供

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

6	障害者差別解消法の取組	【目的】 すべての障がい者が、基本的人権のもとに障がいを理由とする差別を受けないよう、また差別を解消するようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者であることによる差別を解消し、差別をしないよう広報紙及びホームページにより、広く市民に制度を周知</li> <li>市職員の適切な対応を徹底するため、「対応要領」を掲示板に掲載</li> </ul>	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	対応した課の数 (課)						<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙の紙面上で市民に制度の周知を行う。</li> <li>引き続きホームページと庁内掲示板で周知を図る。</li> </ul>		
	【再掲】				計画期	第4期		第5期		第6期	達成率			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度(決算)	
						計画値	-	-	-	-	-		15	
						実績値	-	-	-	-	-		15	
						【評価の理由】 市職員には、対応要領に基づく適切な対応の徹底を図り、必要に応じ対応する体制をとっているため。							100.0%	

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

3 権利擁護の推進

1 権利に関する周知・啓発

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

7	各種選挙執行事業	【目的】 民主主義の基本である選挙のうち、〇〇選に関する事務の適正な執行を図る。	令和3年10月31日執行衆議院議員総選挙を適正に管理執行した。	4 ・ 大 幅 に 遅 れ て い る	指標(単位)	代理投票者数(前回同選挙比較) (人)						引き続き各種選挙の適正な管理執行に努めるとともに、代理投票制度を含めた投票方法の各種制度を周知することで、選挙人の投票の機会を確保し、また投票しやすい環境を整備していく。			
	選挙管理委員会	【概要】 入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票・開票事務等選挙に関する一連の事務を行う。				計画期	第4期		第5期		第6期		達成率  24.9%		
						年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度(決算)	
						計画値			95	262	-			217	
						実績値			-	260	-			54	
						【評価の理由】 令和3年10月31日執行の衆議院総選挙にて、計画値を大幅に下回る結果となったため。 今後、計画値の見直しを含め制度の啓発をより行っていくこととする。									

2 虐待の予防と早期発見

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

8	障害者虐待防止事業	【目的】 障害者の権利利益の擁護を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者虐待通報、相談窓口の広報</li> <li>・ 障害者虐待通報、相談の受付</li> <li>・ 事実確認の実施</li> <li>・ 個別ケース会議の実施</li> <li>・ モニタリングの実施</li> <li>・ 高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議の開催</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	虐待防止に関わる周知 (件)						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙、ホームページで市民に制度の周知を行う。</li> <li>・ 県の通報ダイヤルも周知し、通報しやすい体制を整える。</li> </ul>					
	障がい者福祉課	【概要】 障害者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を行う。						計画期	第4期		第5期		第6期		達成率  100.0%		
								年度	28年度	29年度	30年度		令和元年度	令和2年度		令和3年度(決算)	
								計画値	3	3	3		3	3		3	
								実績値	2	3	3		3	3		3	
								【評価の理由】 ホームページで市民へ、広報紙で県の通報ダイヤルを周知、市内事業所にチラシ配布をするなど周知を図ることできたため。									

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

3 成年後見制度の利用支援

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

9	成年後見制度利用支援事業	【目的】 知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見人制度の対象者等からの相談への対応</li> <li>申立て後の事務手続き</li> </ul>	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	令和2年度までは申立件数 令和3年度からは制度の周知・広報 (件)						<ul style="list-style-type: none"> <li>身寄りがなく、申立てをする人がいない判断能力の不十分な人の保護を図るため、市長が法定後見(後見・保佐・補助)の開始で審判を申立てる。</li> </ul>	
	障がい者福祉課	【概要】 身寄りがなく、申立てをする人はいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見(後見・保佐・補助)の開始で審判の申立てを行う。65歳以上は高齢者福祉課で対応。			計画期	第4期		第5期			第6期		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)		
					計画値	3	3	3	3	3	2		
					実績値	0	0	0	0	0	2		
					【評価の理由】 障がい福祉サービス等に係る相談や窓口対応の際に、必要に応じた説明を行うとともに「障害福祉ガイドブック」の配付等にて、説明・周知を図ったため。								達成率
													100.0%

## 第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

## 2 日常生活への支援

## 1 地域支援体制の整備

## 1 基幹相談支援センター等の整備

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
10	北埼玉地域障がい者支援協議会	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるため支援等を総合的に行うことにより、地域における生活を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託 行田市、羽生市、加須市の共同設置による「北埼玉障がい者生活支援センター」が一般的な相談に対応</li> <li>計画相談 指定をう受けた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応</li> <li>一般相談 指定を受けた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	協議会開催数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> <li>委託 行田市、羽生市、加須市の共同設置による「北埼玉障がい者生活支援センター」が一般的な相談に対応</li> <li>計画相談 指定をう受けた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応</li> <li>一般相談 指定を受けた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期	達成率 50.0%				
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度		令和2年度	令和3年度(決算)		
	計画値	-			-	-	-		-	2		
	実績値	-			-	-	-		-	1		
	【評価の理由】 新型コロナウイルスの影響を考慮のうえ開催中止とし、目標に達しなかったため。											
11	障害者施設整備促進事業	【目的】 市内の障がい福祉サービス事業所の施設整備を促進し、障がい福祉の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当事業の相談を受けた場合は、必要に応じ関係機関と協議対応</li> <li>事業所の偏在・不足の是正、解消に向けた関係法人等への働きかけ</li> </ul>	1・目標を達成	指標(単位)	障がい福祉サービス等提供事業所数 (か所)						<ul style="list-style-type: none"> <li>該当事業の相談を受けた場合は、必要に応じ関係機関と協議対応</li> <li>事業所の偏在・不足の是正、解消に向けた関係法人等への働きかけ</li> <li>該当がある場合は、施設整備補助金を交付する。</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期	達成率 123.3%				
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度		令和2年度	令和3年度(決算)		
	計画値	-			-	-	-		-	60		
	実績値	-			-	56	59		59	74		
	【評価の理由】 グループホームや就労継続支援施設の整備が進み、目標を上回ったため。											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

2 関係機関との連携強化

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
12	障害者相談支援事業	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるため支援等を総合的に行うことにより、地域における生活を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託 行田市、羽生市、加須市の共同設置による「北埼玉障がい者生活支援センター」が一般的な相談に対応</li> <li>計画相談 指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応</li> <li>一般相談 指定を受けた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	相談支援事業所ネットワーク会議開催数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> <li>委託 行田市、羽生市、加須市の共同設置による「北埼玉障がい者生活支援センター」が一般的な相談に対応</li> <li>計画相談 指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応</li> <li>一般相談 指定を受けた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期	達成率 33.3%				
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)						
計画値	-	-	-	-	-	6						
実績値	-	-	12	10	3	2						
【評価の理由】 新型コロナウイルスの影響を考慮のうえ開催中止とし、目標に達しなかったため。												

2 日常生活への支援

2 障害福祉サービス等の充実

1 訪問系サービスの支援

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
13	障がい者訪問サービス事業	【目的】 障がい者(児)が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者(児)の福祉の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者訪問サービス費の支給決定</li> <li>介護保険サービスへの円滑な利用の促進</li> </ul>	2・概ね達成	指標(単位)	利用者数(月) (人)						<ul style="list-style-type: none"> <li>利用対象者の多い「居宅介護」や「行動援護」を中心に、適正にサービス提供を行う。</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期	達成率 93.8%				
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)						
計画値	142	146	159	167	174	210						
実績値	175	172	179	200	193	197						
【評価の理由】 「居宅介護」や「行動援護」を中心に、障害支援区分に応じたサービスを適正に提供することができたため。												

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
14	訪問入浴サービス事業	【目的】 身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。	・訪問入浴サービス利用申請の受付・調査・支給決定 ・委託業者による入浴支援の実施	2・概ね達成	指標(単位)	利用者数(月) (人)	・必要とする方への適正なサービス提供を継続するため、提供事業者の登録増加を図る。					
	障がい者福祉課	【概要】 身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。原則、月2回を限度とするが、ガイドライン(事務処理要領)により月3回以上利用の例外もある。 利用者負担なし。			計画期	第4期		第5期	第6期			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	9	9	7	8	9	8	
					実績値	6	6	7	7	6	7	
					【評価の理由】 事業者との連携により適正にサービスを提供することができたが、見込みより少なかったため。	達成率						
						87.5%						

## 2 日中活動系サービスの支援

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

15	障がい者日中活動サービス事業	【目的】 障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害者日中活動系サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。	・障がい者日中活動系サービス費の支給決定	2・概ね達成	指標(単位)	利用者数(月) (人)	・利用対象者の多い「生活介護」や「就労継続支援」を中心に、適正にサービス提供を行う。					
	障がい者福祉課	【概要】 障害者総合支援法に基づく、「生活介護」、「自立訓練(機能訓練・生活訓練)」、「宿泊型自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援(A型・B型)」、「療養介護」及び「短期入所(福祉型・医療型)」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 【H30.4~制度改正】 ・自立生活援助、就労定着支援のサービスの創設			計画期	第4期		第5期	第6期			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	451	468	512	523	534	618	
					実績値	530	526	584	602	551	581	
					【評価の理由】 「生活介護」や「就労継続支援」を中心に、障害支援区分に応じたサービスを適正に提供することができたため。	達成率						
						94.0%						
16	移動支援事業	【目的】 障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。	・障がい者等の外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会参加を促進 ・対象者への支給決定 ・サービス提供事業者の登録決定及び指導 ・更新案内の送付、受付、支給決定	1・目標を達成	指標(単位)	実施箇所 (箇所)						
					計画期	第4期		第5期	第6期			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	28	29	36	37	38	39	
					実績値	33	33	37	37	40	42	
					【評価の理由】 新規登録事業所が2箇所増えたことにより目標値を超えたため。	達成率						
						107.7%						



No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
17	障がい者福祉課	【概要】 障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。		6・コロナによる影響	指標(単位)	利用者数 (人)	・外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図る。					
					計画期	第4期		第5期	第6期			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	98	101	98	99	100	116	
					実績値	104	113	100	90	76	68	
					【評価の理由】 外での移動が困難な障がい者等に対して、外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛となり、利用が控えられたことから減少したため。						達成率	58.6%
18				6・コロナによる影響	指標(単位)	延べ利用時間(年間) (時間)	・外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図る。					
					計画期	第4期		第5期	第6期			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	15,744	16,512	14,700	14,850	15,000	13,340	
					実績値	15,015	14,048	12,550	10,587	8,384	8005	
					【評価の理由】 新型コロナの影響により外出自粛となり、利用が控えられたことから減少したため。						達成率	60.0%

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等	
19	障害(児)者生活サポート事業	【目的】 障がい(児)者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。	・事業を実施する登録団体への運営費の助成 ・1時間あたりの利用者負担額の段階的改定	6・コロナによる影響	指標(単位)	利用者数(年間) (人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービスで対応しきれない送迎や預かりのサービスを適正に提供する。</li> <li>・適正なサービス提供ができるよう提供事業者へ指導・助言を行っている。</li> </ul>
	障がい者福祉課	【概要】 障がい者およびその家族の介護依頼に対してサービスを提供する民間サービス団体の運営に要する経費を補助する。 ・1時間当り利用者負担額 H28年度まで500円、H29年度650円、H30年度850円、H31年度以降950円(障がい児は生計中心者の所得税額により減免あり) ・民間サービス団体への運営経費補助 1時間当り2,850円と自己負担額の差額			計画期	第4期	
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
計画値	271	281	420	440	460	480	
実績値	386	409	432	417	359	372	
【評価の理由】 送迎及び外出援助を中心としたサービスのため、新型コロナの影響により外出自粛となり、利用が控えられたことから減少したため。	達成率	77.5%					

## 3 居住系サービスの支援

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

20	障がい者居住サービス事業 ①共同生活援助 ②施設入所支援	【目的】 障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。	・障がい者居住サービス費の支給決定 ・市内共同生活援助事業所 29事業所(内 令和3年度開所 8事業所) ※市内入所施設 0施設	1・目標を達成	指標(単位)	①共同生活援利用者数(月) (人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の充実を図りつつ、サポートがあれば1人暮らしが可能な方々の地域への移行を支援する。</li> </ul>
	計画期	第4期	第5期		第6期		
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
計画値	96	102	108	114	120	128	
実績値	99	107	123	121	140	169	
【評価の理由】 市内に共同生活援助施設(グループホーム)が増えており、安定的な利用に繋がっているため。	達成率	132.0%					
21	障がい者福祉課	【概要】 施設に入所する障がい者や共同生活を営むのに支障のない障がい者につき、主として夜間において共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。		1・目標を達成	指標(単位)	②施設入所支援利用者数(月) (人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所調整を行う埼玉県と連絡、連携を密にし、入所希望者の支援を行う。</li> </ul>
	計画期	第4期	第5期		第6期		
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
計画値	121	121	121	121	121	121	
実績値	112	111	118	113	116	123	
【評価の理由】 県との入所調整を適正に管理するとともに、直接施設とやりとりしながら必要な施設入所を実施できたため。	達成率	101.7%					

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
22	心身障害者生活 ホーム事業	【目的】 心身障がい者に生活ホームを利用 させることで社会的自立の助長を図 る。	・生活ホームつくしんぼ のグループホームへの移 行 ・生活ホーム小川の施設 運営費助成	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	入居者数(月) (人)						・市内にある生活ホーム がグループホームに移行 したため、介護者(実家 が加須市)が居住する市 外の生活ホームのグルー プホーム移行を呼び掛け る。
	計画期	第4期			第5期		第6期					
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)						
計画値	6	6	6	1	1	1						
実績値	6	6	6	1	1	1						
【評価の理由】 市内に実家がある介護者が入居する市外の生活ホームに対 し、安定した運営支援ができたため。						達成率						
						100.0%						

#### 4 福祉用具支給の支援

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

23	補装具費支給事 業	【目的】 身体障がい(児)者の失われた身 体機能を補完又は代替する用具を支 給することで、身体障がい(児)者 の社会生活や日常生活の能率向上を 図る。	・補装具に関する相談 ・補装具費助成申請の受 付・調査・支給・貸与の 決定	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	支給件数(年間) (件)						・購入、修理において耐 用年数などを管理、確認 し、引き続き適正な支給 を図る。
	計画期	第4期			第5期		第6期					
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)						
計画値	198	198	198	198	198	180						
実績値	180	174	180	175	142	147						
【評価の理由】 医師の意見書や県リハセンへの判定依頼により適正な支給 決定ができたため(新型コロナの影響により、車いすや歩行 補助装具などの移動補助系の支給が少なかった。)						達成率						
						81.7%						
24	障害(児)者日 常生活用具給付 等事業	【目的】 障がい(児)者等に対して職業そ 他日常生活の能率向上を図る。	・日常生活用具の給付に より障がい者の日常生活 及び社会生活を支援 ・日常生活用具の給付に より障がい者の属する世 帯の経済的負担を軽減	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	給付件数(年間) (件)						・障がい者(児)が必要 とする用具の申請に対 し、内容を確認のうえ適 正に支給する。
	計画期	第4期			第5期		第6期					
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)						
計画値	1,903	2,002	2,084	2,191	2,303	2,200						
実績値	2,088	2,059	2,083	2,158	2,005	1,943						
【評価の理由】 蓄便袋や蓄尿袋、おむつなど排泄管理支援用具を中心に見 込みに近い支給となったため。						達成率						
						88.3%						

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

5 情報提供

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

25	心身障害者扶養 共済制度の加入 促進	【目的】	・心身障がい者(児)の 保護者が亡くなったり重 度障がいになった場合 に、その扶養されている 障がい者に給付金を支給 する「心身障害者扶養共 済制度」を周知	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	申請数(年間) (件)						・新規手帳取得者等に丁 寧な説明を行い、「心身 障害者扶養共済制度」を 周知を図る。
	障がい者福祉課	【概要】			計画期	第4期		第5期		第6期		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)	
					計画値	1	1	1	1	1	1	
					実績値	2	2	1	1	1	5	
					【評価の理由】	加入を検討している方に制度を説明するとともに、新規加 入申請及び口数追加申請等に対して適正な処理ができたた め。					500.0%	
26	障害者施設整備 促進事業	【目的】	・該当事業の相談を受け た場合は、必要に応じ関 係機関と協議対応 ・事業所の偏在・不足の 是正、解消に向けた関係 法人等への働きかけ	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	市内への施設整備の周知回数 (回)						・該当事業の相談を受け た場合は、必要に応じ関 係機関と協議対応 ・事業所の偏在・不足の 是正、解消に向けた関係 法人等への働きかけ ・該当がある場合は、施 設整備補助金を交付す る。
	【再掲】	市内の障がい福祉サービ事業所 の施設整備を促進し、障がい福祉の 向上を図る。			計画期	第4期		第5期		第6期		
	障がい者福祉課	【概要】			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)	
		障がい福祉サービス事業所の整備 促進のため、施設を整備する社会福 祉法人に、施設整備費及び設備整備 費の一部として補助金を交付 する市の独自制度を周知する。			計画値	-	-	-	-	-	3	
					実績値	-	-	-	-	-	3	
					【評価の理由】	市ホームページや広報紙、会議時等、今後も引き続き、機 会を捉えた効果的な周知を実施していく。					100.0%	
27	福祉サービス利用 援助事業	【目的】	・判断能力が低下した方 に対する日常生活の援 助、日常的金銭管理、書 類預かり。	2 ・ 概 ね 達 成	指標(単位)	あんしんサポートねっとの延べ利用者数 (人)						・適切な日常生活の援 助、日常的金銭管理、書 類預かりができるよう、 県社協のマニュアルを遵 守するとともに、専門員 と生活支援員の研修を積 極的に行う。
		判断能力の低下した方を対象に日 常生活を支援し、自立・安定した生 活を図る。			計画期	第4期		第5期		第6期		
	社会福祉協議会	【概要】			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)	
		認知症高齢者・知的障がい者・精 神障がい者等に対し、行政や金融機 関の手続きについて、代理や同行を 行う。			計画値	150	150	240	240	240	200	
					実績値	239	251	197	171	173	162	
					【評価の理由】	高齢者相談センターや障がい者生活支援センターから紹介 された新規契約案件がある一方で成年後見制度にサービスを 移行した利用者もいたため、延べ利用件数は前年比約1割減 となったが、必要な方に適切な支援を実施できたため。					81.0%	

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

- 2 日常生活への支援
- 3 相談支援等の充実
- 1 相談支援

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	第4期			第5期			第6期
28	障害者相談支援 事業  【再掲】	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北埼玉障がい者生活支援センター（加須市・行田市・羽生市共同設置）にて福祉サービスや障がい・病気等、様々な相談支援に対応</li> <li>・社会資源活用支援</li> <li>・専門機関等の紹介</li> <li>・訪問による継続的な支援</li> </ul>	2・概ね達成	指標(単位)	北埼玉障害者生活支援センター相談件数（年間）（件）						<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先の支援センターとの連携を密にし、障がい者の相談に的確に対応する</li> </ul>
					計画期	第4期			第5期		第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（決算）			
	計画値	1,557			1,611	1,725	1,776	1,826	1,420			
	実績値	2,265			2,485	1,601	1,870	1,301	1,221			
	【評価の理由】 新型コロナウイルスの影響により対面での相談が減少したものの、障がい者及びその家族の生活を支援したため。	達成率			86.0%							
29	民生委員・児童委員活動推進事業	【目的】 民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や社会福祉協議会と連携した地域福祉活動の実施</li> <li>・福祉に関する研究協議及び調整</li> <li>・在宅要支援者及び家族に対する福祉活動の実施</li> <li>・災害時要支援者の把握及び登録周知活動の実施</li> <li>・各種研修機会の提供</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	障がい者に関する相談件数（年間）（件）						<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員の日頃の活動が円滑に行えるよう、関係各課からの情報やお知らせを、会議等において積極的に周知し、市と委員の情報共有に努める。</li> <li>また、民生委員・児童委員の活動が年々増加（難題化）している中で、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、地域のなかで支えが必要な方々に寄り添う活動を支援する。</li> <li>欠員がある地区に対して、候補者の推薦を継続して依頼する。</li> </ul>
					計画期	第4期			第5期		第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（決算）			
	計画値	/			/	120	140	160	160			
	実績値	147			68	163	127	49	35			
	【評価の理由】 新型コロナウイルスの感染対策等による活動縮小のため実績値は計画値の50%未満となったが、感染対策に取り組みながら適切に相談・支援活動を実施した。 在宅要支援者及び家族に対する支援をはじめ、「地域の方の身近な相談相手」として、様々な相談が行われる中、概ね障がい者及びその家族の生活を支援することができたため。	達成率			21.9%							



No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

### 3 「支援区分審査会」の運営

32	北埼玉地区障害 支援区分審査会 共同設置事業	【目的】 障がい者の支援の度合いに応じた サービスが利用できるように審査会 を経ることで基準の透明化・明確化 を図る。	・加須市、行田市、羽生 市の障害支援区分の審査	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	審査件数(年間) (件)						・毎月の審査会運営を円 滑に実行し、障害福祉 サービスの適正な支給を 行う。
		計画期			第4期		第5期		第6期			
		年度			28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)		
		計画値			175	175	235	175	175	235		
		実績値			232	218	294	245	227	264		
		【評価の理由】 新規にサービスの利用を希望する方や支給量を増やす方な ど、見込よりも多くの審査を行ったため。			達成率							
										112.3%		

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

- 2 日常生活への支援
- 4 経済的支援の充実
- 1 助成による支援

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	①自動車運転免許取得費助成件数（年間）			（ 件 ）			
33	社会参加促進事業 ①運転免許取得費 ②FAX使用料	【目的】 障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。	・障がい者自動車運転免許取得費補助及び身体障がい者自動車改造費補助 ・自動車燃料費助成及びファクシミリ利用料助成 ・福祉タクシー利用料助成	1・ 目標を達成	指標(単位)	①自動車運転免許取得費助成件数（年間）			（ 件 ）		・障がい者が自ら進んで社会参加できるよう、自動車運転免許の取得費を助成する	
					計画期	第4期		第5期		第6期		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度(決算)
					計画値	3	3	3	3	3		3
					実績値	2	2	4	6	2		4
					【評価の理由】 障がい者自ら自動車を運転して社会参加するために、免許の取得を経済的に支援した。							達成率
												133.3%
34	障がい者福祉課	【概要】 ・障がい者自動車運転免許取得費補助…12万円を限度 ・身体障がい者自動車改造費補助…10万円を限度 ・自動車燃料費助成…月額1,000円(上限) ・福祉タクシー利用料助成…年間24枚 ・ファクシミリ利用料助成…月額1,000円(上限)		3・ やや遅れている	指標(単位)	②電話ファクシミリ使用料金助成件数（年間）			（ 件 ）		・聴覚、音声及び言語機能障がい者に対し制度の周知を徹底し、経済的負担の軽減を図る	
					計画期	第4期		第5期		第6期		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度(決算)
					計画値	75	80	65	65	65		65
					実績値	61	63	58	38	47		47
					【評価の理由】 通信手段の多様化により、ファクシミリ利用者が減少しているため。							達成率
												72.3%



No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	受給者数(年間) (人)					
35	重度心身障害者 医療費支給事業	【目的】 重度心身障がい者(児)やその家庭の経済的負担を軽減し、重度心身障害者(児)の福祉の増進を図る。	・新規登録申請の受付及び審査 ・重度心身障害者医療費の支払処理 ・中学生以下の市内医療機関の窓口払廃止による現物給付の継続	2 ・概ね達成	計画期	第4期		第5期		第6期	・受給対象となる重度心身障がい者(児)への制度の周知を行い、経済的負担の軽減を図る
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)		
	計画値	3,311			3,443	3,013	3,043	3,073	2,500		
	実績値	2,864			2,669	2,626	2,518	2,405	2,338		
	【評価の理由】 65歳以上で手帳を取得した障がい者を対象外として以降、受給者数は減少傾向にあるものの、事務処理を適正かつ迅速に行っているため。	達成率			93.5%						
障がい者福祉課	【概要】 対象者から請求される医療保険制度の一部負担金及び入院食事療養費標準負担額(中学校3年生まで)を助成する。 ○受給資格者・身体障害者手帳1,2,3級所持者・療育手帳マルA、A、B所持者・精神障害者保健福祉手帳1級所持者(平成27年1月から)65歳以上で後期高齢者医療制度の障害認定に該当する者。(65歳以上で新たに重度障害になった場合、H27年1月から対象外)										

## 2 手当による支援

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	支給対象数 (人)					
36	特別障害者手当 等支給事業	【目的】 重度障がい(児)者の介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図る。	・申請の受付、審査、決定 ・手当の支給 ・更新案内の送付 ・その他変更や喪失に係る事務 ・介護度4・5の高齢者へ制度周知の案内送付	2 ・概ね達成	計画期	第4期		第5期		第6期	・介護保険担当と連携し、要介護認定4,5の方への周知を徹底し、経済的負担の軽減を図る
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)		
	計画値	174			178	182	186	190	206		
	実績値	160			155	189	201	201	202		
	【評価の理由】 要介護認定4,5の方に制度の周知を徹底したことにより、潜在していた対象者を掘り起こすことができているため。	達成率			98.1%						
障がい者福祉課	【概要】 ・特別障害者手当 月額27,200円…20歳以上で身体又は精神の障害で常時介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額14,790円…20歳未満で身体1級・2級の一部、知的OA、精神 ・経過的福祉手当…月額14,790円…昭和61年4月1日の制度改正以前に福祉手当を受給していた者で特障手当も障害年金も受けられない者										

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

- 2 日常生活への支援
- 5 保健・医療の充実
- 1 予防と早期の対応の充実

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	3歳児健診受診率			（%）			
37	乳幼児健診事業	【目的】 親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～4か月児健診：年12回</li> <li>・9～10か月児健診：年13回</li> <li>・3～4か月児、9～10か月児合同健診：年18回</li> <li>・1歳6か月児健診：年12回</li> <li>・2歳児健診：年14回</li> <li>・1歳6か月児、2歳児合同健診：年13回</li> <li>・3歳児健診：年27回</li> <li>・1歳6か月児、2歳児、3歳児合同健診：年6回</li> <li>・内容：身体計測、内科診察、歯科診察（1歳6か月児、2歳児、3歳児健診のみ）、保健相談、栄養相談、歯科相談、心理相談</li> </ul>	2・概ね達成	指標(単位)	3歳児健診受診率			（%）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染予防策として、各健診対象人数が40名以上となった場合は、別日を設ける。</li> <li>・育児休暇の職員復帰に伴う臨時採用看護師職員の減少に加え、復帰職員の育児時間取得による保健師の対応不足が生じ、看護師、保健師の人員不足が予想される。</li> <li>・未受診者に対し未把握のないよう再通知や訪問、電話連絡や病院受診状況等を把握している。</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期		第6期		
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	100			100	100	100	100	100			
	実績値	93.4			95.1	94.6	91.9	95.5	95.1			
	【評価の理由】 3歳児健診受診対象者742人に対し受診者706人と受診率は95.1%であり概ね達成できているため。						達成率	95.1%				
38	幼児発達支援事業	【目的】 親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達、または養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子・育児教室の実施 60回 延べ479人</li> <li>・ことばの相談 71回 676人</li> </ul>	2・概ね達成	指標(単位)	乳幼児健診等で紹介した児の教室への参加割合			（%）			<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室について、対象人数に応じた実施方法を検討する。</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期		第6期		
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	100			100	100	100	100	85			
	実績値	85.7			83.3	80	81.8	86.8	69.6			
	【評価の理由】 目標指標の目標値には到達しなかったが、事業への参加・医療機関への受診勧奨を実施したことにより、おおむね達成できた。引き続き、相談・支援を継続する。						達成率	81.9%				
子育て支援課 (すくすく子育て相談室)	【概要】 ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある幼児や、子どもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図る。また、必要な幼児に対し医療機関への受診を勧め、幼児の特徴を知り、発達を促す関わりができるようにする。											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

## 2 保健・医療サービスの充実

39	地域医療ネットワーク（とねっと）事業	<b>【目的】</b> 地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会事務局費の負担</li> <li>協議会事務局の支援</li> <li>県及び中核病院との連携による圏域外住民・医療機関を含めた参加促進</li> <li>システムの普及・啓発</li> <li>国のデータヘルス改革の進捗等の確認</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	市内の「とねっと」参加（医科）医療機関数（機関）					
	計画期	第4期			第5期			第6期			
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（決算）		
	計画値	35			38	34	35	36	52		
	実績値	35			33	35	33	33	33		
	【評価の理由】	新型コロナウイルス感染症の影響により普及活動の実施が難しく、計画値に届かなかったため。					達成率				
							63.5%				
健康医療推進課	<b>【概要】</b> ・医療機関及び参加者の増加を図るため、普及啓発を行う。 ・協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年4月1日から歯科医療機関や調剤薬局が「とねっと」に加わったことで、幅広い医療連携ができるようになったため、市民がより質の高い医療サービスを受けられるシステムとし、また、利根保健医療圏域外の住民及び医療機関も含め加入促進に努め、救急面での更なる活用を図る。</li> <li>システムの実績を検証し、費用対効果の面からのPRを事務局と進めていく。</li> <li>国が構築する医療ネットワークについては、2重投資や後戻りのないよう進めていく。</li> </ul>					

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

3 障がい児に対する支援

1 障がい児支援の充実

1 早期発見・早期療育体制の充実

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	支給率 (%)						
40	未熟児養育医療 給付事業	【目的】 未熟児の保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。	・未熟児養育医療の適正な給付  給付件数：64件 給付額：5,610,896円	1・目標を達成	計画期	第4期		第5期			第6期	・出産後直ちに医療を必要とする未熟児の保護者にかかる医療費負担を公費で支援し、未熟児の保健の向上と保護者の負担軽減を図る。
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
	計画値					100	100	100	100			
	実績値	100			100	100	100	100	100			
	【評価の理由】 申請に基づき、適正な医療費支給を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減に寄与したため。							達成率				
								100.0%				
41	あすなろ園管理 運営事業	【目的】 母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。	・施設の維持管理（各種検査・点検、各種清掃・消毒等） ・会計年度任用職員（保育士）の配置及び管理 ・専門家（言語聴覚士、理学・作業療法士）を活用した訓練の実施 ・保育所等における障がい児保育の支援	3・やや遅れている	指標(単位)	あすなろ園通園者数 (人)						・母子通園により機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援と親支援を行い、集団保育や就学につなげていく。
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	17			18	18	18	18	20			
	実績値	14			18	13	14	11	10			
	【評価の理由】 保護者支援が必要なケースに対応する施設として、少ないながら一定のニーズがあったが、計画値には達しなかったため。							達成率				
							50.0%					

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

## 2 発達障がいへの支援

42	特別支援教育推進事業	【目的】 児童生徒の教育的ニーズに対応するため、介助を必要とする児童生徒の就学支援体制の充実を図る。	障がい児介助員の配置 ○小学校22校中21校に54名配置 ○中学校8校中7校に7名配置 ○障がい児介助員の計画的配置を行った。 難聴・言語障害通級指導教室 ○就学時健康診断で対象となった児童への二次検査の実施、入級までの保護者との円滑な相談を行う。	1・ 目標を達成	指標(単位)	障がい児介助員配置人数 (人)						・児童生徒の障害の程度を把握し、適切に各小中学校へ配置を進めるとともに、障がい児介助員の質向上のため、校内支援体制の充実と研修会実施を検討していく。
	計画期	第4期			第5期			第6期				
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)						
計画値	/		60	60	60	60						
実績値	59	60	60	60	60	61						
【評価の理由】 目標としていた人数を配置することができ、個別の支援が行き届き特別支援教育の充実が図られたため。						達成率						
						101.7%						
	学校教育課	【概要】 特別支援学級や通常学級で学ぶ児童生徒の教育活動を支援する障がい児介助員を配置する。難聴・言語障害通級指導教室（ことばの教室）を運営する。発達障害・情緒障害通級指導教室を運営する。										

## 3 障がい児サービスの支援

43	障がい児発達支援事業	【目的】 障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。	・障がい児発達支援費の支給決定	1・ 目標を達成	指標(単位)	①利用者数(月) (人)						・増加傾向にある学齢期の障がい児の年中活動の支援を中心に、受け入れの充実に向けて、事業者と情報提供や連携を促進する
	計画期	第4期			第5期			第6期				
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)						
計画値	107	118	132	143	154	232						
実績値	132	143	172	221	244	353						
【評価の理由】 主な利用は放課後等デイサービスと児童発達支援が多くを占め、利用者のニーズ合わせた適正な支給決定ができたため。※新型コロナウイルスの影響により、在宅支援の形態が増加した。						達成率						
						152.2%						
44	障がい者福祉課	【概要】 障害種別（身体障害・知的障害・精神障害）にかかわらず、障がいのある人が必要とするサービスを利用できるよう、個々の障害の程度や社会活動、介護者の居住等の状況するなど、勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定を行う。		1・ 目標を達成	指標(単位)	②計画作成者数(累積) (人)						・増加傾向にある学齢期の障がい児の年中活動の支援を中心に、障害児相談支援事業所と連携した利用計画を作成する
	計画期	第4期			第5期			第6期				
年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)						
計画値	140	158	170	180	190	200						
実績値	134	155	180	191	226	281						
【評価の理由】 障がい児がサービスを利用する計画を立てる際に、障害児相談支援事業所による利用者への聞き取りにより、適正な計画作成ができていたため。※新型コロナウイルスの影響により、在宅支援の形態が増加した。						達成率						
						140.5%						

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

4 重症心身障がい児支援

45	在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	【目的】 重症心身障がい児を在宅で介護する家族の負担軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期入所を中心に必要な支援を行い、保護者の心身の負担を軽減</li> <li>事業を実施する事業者へ助成金を交付</li> <li>埼玉県へ補助金申請</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	助成金交付者数（延べ人数） (人)						<ul style="list-style-type: none"> <li>要件緩和により新たに対象となりうる重症心身障がい児に対し、引き続き制度を周知し利用を促進する</li> </ul>	
	障がい者福祉課	【概要】 医療的ケアを必要とする重症心身障害児者を在宅で介護する家族の精神的、身体的負担の軽減を図るため、短期入所や日中一時支援等のレスパイトケア（休息のための支援）事業において受け入れた事業者へ助成金を交付する。			計画期	第4期		第5期			第6期		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（決算）		
					計画値			96	96	96	240		達成率
					実績値			0	198	191	165		
					【評価の理由】 重症心身障がい児に対し必要な支援を実施することにより、保護者の心身の負担を軽減することができたものの、新型コロナウイルスの影響により、件数が減少したため。						68.8%		

5 障がい児の家庭への支援

46	特別児童扶養手当支給（県事業）	【目的】 県事業のため事業管理シートなし。  精神又は身体に一定の障がいのある児童を養育する家庭等に対する経済的な支援を行ない、児童の福祉の増進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定申請受付、所得状況届受付及び県へ進達</li> </ul> 受給権者数：176人	1・目標を達成	指標(単位)	対象者への支給率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに対象となりうる精神又は身体に一定の障がいのある児童を養育する家庭等に対し、引き続き制度を周知する</li> </ul>	
	子育て支援課	【概要】 20歳未満で、身体又は精神に政令で定める程度の障害のある児童を監護する父、もしくは母、または父母にかわってその児童を養育している方に手当を支給する。			計画期	第4期		第5期			第6期		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（決算）		
					計画値			100	100	100	100		達成率
					実績値	100	100	100	100	100	100		
					【評価の理由】 申請に基づき、適正な支給を行うことにより、20歳未満で、身体又は精神に政令で定める程度の障害のある児童を監護する父、もしくは母、または父母にかわってその児童を養育している方の経済的負担の軽減に寄与したため。。						100.0%		

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

- 3 障がい児に対する支援
- 2 教育・保育の充実
- 1 就学前教育・保育の充実

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	障害児保育実施保育所数（公立・民間）							(箇所)
47	公立保育所障害 児保育事業  民間保育所障害 児保育事業	【目的】 障がいがある児童の家庭を支援する 保育サービスの充実を図る。	・障がいの種類や程度に応じた保育士の加配 ・配慮、見守りを必要とする乳幼児の状況確認 ・障がい児保育に係る各種研修への参加 ・民間保育所が対応できない児童の積極的受入れ	1. 目標を達成	指標(単位)	障害児保育実施保育所数（公立・民間）						(箇所)	・障がいのある児童の状況に応じて適切な保育が進められるよう、保育士の加配や民間保育園への助成を必要に応じて行い、児童の発達及び保護者の就労と子育ての支援を行う。
					計画期	第4期			第5期			第6期	
	年度	28年度	29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)					
	計画値	23	23		23	23	23	22					
	実績値	14	15		23	22	22	22					
	【評価の理由】 公立保育所では、保育士の加配を行い受け入れ拡大に努めた。民間保育所では、補助対象となる児童を受け入れた。 ※R2.4から加須市立第三保育所が休止となったため、1園減少。	達成率	100.0%										
こども保育課	【概要】 障害があり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障害児3人に対し最低1名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。	・民間保育所に対する障がい児の積極的受入れへの働きかけ ・障がい児受入れ実績に応じた適正な支援	【評価の理由】 公立保育所では、保育士の加配を行い受け入れ拡大に努めた。民間保育所では、補助対象となる児童を受け入れた。 ※R2.4から加須市立第三保育所が休止となったため、1園減少。	達成率	100.0%								
48	公立幼稚園管理 運営事業	【目的】 公立幼稚園（13園）の適正な管理運営を行う。	・公立幼稚園の管理運営 ・名入封筒の印刷製本 ・教員免許状更新講習受講料の公費負担（会計年度任用職員、幼稚園教諭確保対策） ・公立幼稚園の教育の充実を図るため、また特別な配慮を必要とする幼児に対しての支援を行うために、すべての公立幼稚園に幼稚園業務補助員を配置	1. 目標を達成	指標(単位)	補助員配置幼稚園数						(園)	・巡回相談や関係機関との連携を図り、特別な配慮を必要とする幼児、保護者への支援を行うとともに、職員の資質向上を図る。 ・引き続き、特別支援教育を推進するため、幼稚園業務補助員の配置を行う。
					計画期	第4期			第5期			第6期	
	年度	28年度	29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)					
	計画値	13	13		13	13	13	13					
	実績値	13	13		13	13	13	13					
	【評価の理由】 公立幼稚園では、すべての幼稚園に補助員を配置し、特別な配慮を必要とする幼児への合理的配慮に努めたため。	達成率	100.0%										
こども保育課	【概要】 ・公立幼稚園13園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 ・幼児・教職員の健康診断等を実施する。 ・幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・産休代替、欠員補充職員を雇い上げ適正に配置する。 ・幼稚園補助員を配置する。	・公立幼稚園の管理運営 ・名入封筒の印刷製本 ・教員免許状更新講習受講料の公費負担（会計年度任用職員、幼稚園教諭確保対策） ・公立幼稚園の教育の充実を図るため、また特別な配慮を必要とする幼児に対しての支援を行うために、すべての公立幼稚園に幼稚園業務補助員を配置	【評価の理由】 公立幼稚園では、すべての幼稚園に補助員を配置し、特別な配慮を必要とする幼児への合理的配慮に努めたため。	達成率	100.0%								

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

## 2 就学後教育等の充実

49	公立放課後児童健全育成事業	【目的】 放課後の時間帯や長期休業期間中、就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内15小学校区で放課後児童クラブを実施</li> <li>主任指導員配置による安定的な運営</li> <li>教育委員会、各小学校と連携した管理、運営</li> </ul>	1・ 目標を達成	指標(単位)	実施箇所数（公立・民間） (箇所)						<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある児童の状況に応じて適切な保育が実施できるよう、指導員の加配や、民間放課後児童クラブへの助成を必要に応じて行う。</li> </ul>	
	民間放課後児童健全育成事業				計画期	第4期		第5期		第6期			
	こども保育課	【概要】 <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。</li> <li>開設時間：学校開業日：放課後～19時、学校休業日：7時30分～19時、</li> <li>合同保育の実施</li> <li>民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童ゼロ維持のための指導員確保</li> <li>主任指導員の配置</li> <li>16クラブ（18支援単位）に事業委託</li> <li>クラブが行う多子世帯等（クラブ複数児童利用世帯等）の保育料減免に対する助成</li> <li>設備運営基準条例に基づく検査・指導</li> </ul>	年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度 (決算)
	計画値	31			31	33	33	33	34				
	実績値	32			32	33	34	34	34				
	【評価の理由】 計画値どおりの実施箇所数を達成したため。	達成率			100.0%								



第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

4 就労への支援

1 就労機会の拡充

1 職業能力の開発・育成

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の実施内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	新規就労者数（年間）（人）						
50	障害者就労支援 事業	【目的】 障がい者に対し、就労に関する相 談支援や情報提供等を行うことで、 障がい者の経済的自立と社会参加の 促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労準備支援</li> <li>職場開拓、就職支援</li> <li>職場定着支援</li> <li>離職時支援</li> <li>就職支度金の支給</li> </ul>	6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	新規就労者数（年間）（人）						<ul style="list-style-type: none"> <li>北埼玉障がい者就労支 援センターから毎月報告 を受け、状況に応じ個別 に対応する</li> <li>ハローワークをはじめ 関係機関との連携によ り、障がい者の就労の機 会を広げる</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期			第6期	
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)	
					計画値	15	15	15	15	15	30	
					実績値	20	39	26	26	11	18	
					【評価の理由】 新型コロナの影響により、障がい者雇用を行う企業・事業 所からの求人が減ってしまったため。						達成率	
							60.0%					
51	障がい者福祉課	【概要】 [北埼玉障がい者就労支援セン ター] 加須市、羽生市、行田市との共同 設置。社会福祉法人 共愛会へ委託す る。 [就労支度金] 施設での訓練が終了し、就職等に より自立した者に就職支度金を支給 し、社会復帰の促進を図る。		6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	就労支援センター実習等企業数（市内）（社）						<ul style="list-style-type: none"> <li>北埼玉障がい者就労支 援センターから毎月報告 を受け、状況に応じ個別 に対応する</li> <li>ハローワークをはじめ 関係機関との連携によ り、障がい者の就労の機 会を広げる</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期			第6期	
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)	
					計画値	14	15	16	16	16	10	
					実績値	9	11	10	5	8	6	
					【評価の理由】 就労に向けた実習を行うため、北埼玉障がい者就労支援セ ンターが受入先の企業を探したが、新型コロナの影響により 受け入れ先が少なかったため。						達成率	
							60.0%					

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

## 2 一般就労の促進

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

52	就業支援事業	【目的】 市民が安定した生活を営めるよう、厳しい雇用情勢に対応し、求職者の早期就業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業支援セミナー等の開催・共催・拡充</li> <li>就業支援情報の提供</li> <li>内職相談の実施</li> <li>市内の求人求職等データの把握・分析</li> <li>各種面接会の開催</li> </ul>	6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	県北障害者就職面接会の参加者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、県北障害者就職面接会実施に向けハローワーク行田と調整する。</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期			第6期				
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	-			-	115	115	115	115			
	実績値	119			114	137	127	中止	88			
	【評価の理由】	新型コロナの影響により、規模を縮小して開催したため。					達成率					
							76.5%					

## 2 就労環境の整備

## 1 就労の場の確保

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

53	人事管理事業	【目的】 自立した自治体経営を目指すため、人材を経営資源の1つと捉え、人材育成事業と組み合わせながら、公平・公正で職員一人ひとりの能力を発揮させる人事管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事配置、給与支払、サービス管理</li> <li>職員採用試験、職員昇任試験の実施</li> <li>人事評価(能力評価・業績評価)の実施</li> <li>定期健康診断、ストレスチェック、産業医健康相談 等</li> </ul>	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	障がい者雇用率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> <li>人事配置、給与支払、サービス管理</li> <li>職員採用試験、職員昇任試験の実施</li> <li>人事評価(能力評価・業績評価)の実施</li> <li>定期健康診断、ストレスチェック、産業医健康相談 等</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期			第6期				
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	-			-	-	-	-	2.6			
	実績値	-			-	2.76	2.11	2.0	2.69			
	【評価の理由】	引き続き、正職員及び会計年度任用職員における障がい者の採用を促進する。					達成率					
							103.5%					

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	就労支援センター利用者就職率 ( % )			達成率			
54	障害者就労支援 事業  【再掲】	【目的】 障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労準備支援</li> <li>職場開拓、就職支援</li> <li>職場定着支援</li> <li>離職時支援</li> <li>就職支度金の支給</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	就労支援センター利用者就職率 ( % )			達成率			
					計画期	第4期		第5期		第6期	令和3年度 (決算)	59.5%
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		
	計画値	32			33	34	35	36	37	達成率		
	実績値	27			46	32	36	16	22			
	【評価の理由】 北埼玉障がい者就労支援センターを利用した障がい者のうち、新規に就労できた人数（利用者81人中18人）の割合が、新型コロナの影響により、見込みより少なかったため。							達成率	59.5%			
							達成率	59.5%				
55	身体障がい者等 はり・きゅう・ マッサージ券給 付事業	【目的】 身体障がい者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障がい者の就業及び経済的自立を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者への制度の周知</li> <li>新規利用申請の受付、助成券の交付</li> <li>継続利用者へ助成券送付</li> <li>指定治療院と委託契約の締結</li> <li>事業所の偏在・不足の是正、解消に向けた関係法人等への働きかけ</li> </ul>	3・やや遅れている	指標(単位)	給付者に対する利用者の割合 ( % )			達成率			
					計画期	第4期		第5期		第6期	令和3年度 (決算)	55.0%
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		
	計画値	-			-	-	-	-	40	達成率		
	実績値	-			-	-	33	35	22			
	【評価の理由】 施術施設が、事業主死亡により3カ所から2カ所に減ったため、利用者数の減少となった。							達成率	55.0%			
							達成率	55.0%				
		障がい者福祉課	【概要】 北埼玉障がい者就労支援センター] 加須市、羽生市、行田市との共同設置。社会福祉法人 共愛会へ委託する。 [就労支度金] 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図る。									
		障がい者福祉課			【概要】 保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給するとともに、視覚障がい者の就業及び経済的自立を推進する。							
		障がい者福祉課										
		障がい者福祉課										
		障がい者福祉課										
		障がい者福祉課										

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	発注額 (千円)						
56	障害者優先調達 推進	【目的】 障がい者就労施設等からの物品等の調達の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課に優先調達について周知し、発注可能なものを選定</li> <li>障害者就労施設等の市庁舎内（昼休み）での物品販売での販売スペースを確保</li> </ul>	2・概ね達成	計画期	第4期		第5期			第6期	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課に優先調達について周知し、発注可能なものの増加を図る。</li> <li>物品等の調達のほか、障害者就労施設等の市庁舎内（昼休み）での物品の販売や市及び関係団体等が実施するイベント等での販売スペースの確保などを推進する。</li> </ul>
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
	計画値					2200	2,250	2,300	2,000			
	実績値	2,159			2,374	1,039	1,643	1,566	1,980			
	【評価の理由】 新型コロナウイルスの影響により障がい者スポーツ交流大会が中止となったが、障がい者及び障害への理解を深めるための啓発グッズとして、バッジ、ストラップを作成したため。	達成率			99.0%							

2 関係機関等との連携強化

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	新規就労者数(年間) (人)						
57	障害者就労支援 事業 【再掲】	【目的】 障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労準備支援</li> <li>職場開拓、就職支援</li> <li>職場定着支援</li> <li>離職時支援</li> <li>就職支度金の支給</li> </ul>	6・コロナによる影響	計画期	第4期		第5期			第6期	<ul style="list-style-type: none"> <li>北埼玉障がい者就労支援センターから毎月報告を受け、状況に応じ個別に対応する</li> <li>ハローワークをはじめ関係機関との連携により、障がい者の就労の機会を広げる</li> </ul>
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
	計画値	15			15	15	15	15	30			
	実績値	20			39	26	26	11	18			
	【評価の理由】 新型コロナウイルスの影響により、障がい者雇用を行う企業・事業所からの求人が減ってしまったため。	達成率			60.0%							

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

5 社会参加の促進

1 文化芸術・スポーツ活動の支援

1 文化芸術活動への支援

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 ( % )						
58	市民学習カレッジ事業	【目的】 市民の学習参加のきっかけづくりと生涯学習活動を促進するために、市民一人ひとりがそれぞれの年代やライフスタイルに応じて、自由に学び、楽しみ、その学習成果を地域社会に活かせる仕組みを整備し、併せて地域の活性化を促進する。  市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりと深まりを求めた学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民学習カレッジセミナーの実施</li> <li>・加須市生涯学習市民企画委員会の開催</li> <li>・かぞ生涯学習フェスティバルの企画</li> <li>・市民学習カレッジ募集号（ライフステージ）の発行</li> </ul>	1・目標を達成	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 ( % )						<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民企画委員「アシストかぞ」や協働によりバラエティ豊かなセミナー（講座）を実施（企画・運営）するだけでなく、市民のニーズに合ったセミナー（講座）が実施できるよう情報収集を行うことで、更なる講座の質の向上を図っていく。</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	-			-	80	80	80	80			
	実績値	-			-	73	69	0	83			
	【評価の理由】 生涯学習を推進するため、市民ボランティア（市民企画委員「アシストかぞ」）と協働で、生涯学習課主催又は共催のセミナーとして63講座を企画し、42講座開催し、市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援した。（21講座については、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、中止とした。）	達成率			103.8%							
59	図書館資料整備事業	【目的】 高度化・多様化する市民ニーズに応え、市民の教育と文化の発展に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料の計画的な購入・受入・見直し</li> <li>・県内外の公共図書館との連携</li> <li>・郷土資料（行政資料等）の収集・受入</li> <li>・図書館資料の適切な除籍</li> </ul>	1・目標を達成	指標(単位)	障がい者向け資料の整備 ( 点 )						<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の整備をさらに進めるとともに、障がい者サービスの充実を図るため、障がい者向け資料のコーナーの周知を図る。</li> </ul>
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	-			-	140	145	150	180			
	実績値	129			136	152	168	194	225			
	【評価の理由】 点字資料の受け入れやLLブックの新規購入により、障がい者向け資料の充実を図ることができたため。	達成率			125.0%							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

2 スポーツ活動への支援

60	スポーツ教室等 開催事業	【目的】 健康の保持増進や体力の維持向上を目指し、スポーツを通して仲間との交流を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のスポーツへの関心を高めるためスポーツ教室を開催</li> <li>ピラティス</li> <li>カーヌー&amp;ヨット教室</li> <li>体験型ニュースポーツ教室（フロアカーリング・ポッチャ）</li> <li>小学生硬式テニス教室</li> <li>前期、後期 クライミング教室</li> <li>前期、後期Jrクライミング教室</li> <li>初心者スケートボード教室</li> <li>サイクリング教室</li> <li>Do You! スポーツミックス</li> <li>※その他計画していた5教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	開催教室数 (教室)						<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍での教室のあり方を検討する。また、教室の種類、募集方法、時期なども検討し、引き続き、市民が参加しやすい教室を開催することにより市民のスポーツの関心を高める。</li> </ul>
	スポーツ振興課	【概要】 市民のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ教室を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨガピラティス教室</li> <li>小学生水泳教室</li> <li>小学生スキー教室</li> <li>ヨット・カーヌー教室</li> <li>体験型ニュースポーツ教室</li> <li>小学生硬式テニス教室</li> </ul>			計画期	第4期		第5期		第6期	達成率	
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和8年度	令和3年度(決算)	61.1%
					計画値	17	18	18	18	18	18	
					実績値	16	16	15	15	6	11	
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた一部の教室を開催することができなかったことにより目標値を下回ったため。 しかしながら、初心者スケートボード教室やサイクリング教室といった新たな取り組みを行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催した教室では幅広い年齢層の参加があった。							
61	障害者スポーツ 交流事業	【目的】 障害（児）者及び介護者をはじめとして、スポーツを通して交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナの影響により大会開催を中止</li> </ul>	6・コロナによる影響	指標(単位)	交流大会参加者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> <li>「ポッチャ」の人気が高いため、より多くの方に参加いただけるようコート数や試合数の増加など工夫する</li> </ul>
	障がい者福祉課	【概要】 加須市民体育館内において各障害者団体及び介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ハン食い競争ほか軽度な競技を中心に個人種目及び団体対抗種目を実施する。</li> <li>競技の進行等を団体の役員にも協力依頼する。市民による障がい者スポーツ振興・普及の取組みを支援する。</li> </ul>			計画期	第4期		第5期		第6期	達成率	
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	-
					計画値	300	300	300	300	300	300	
					実績値	326	296	312	344	中止	中止	
					【評価の理由】 新型コロナの影響を考慮し、基礎疾患を持つ障がい者（児）の室内競技の大会であることから、開催を中止したため。							

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

5 社会参加の促進

2 交流・コミュニケーション支援の充実

1 多様な交流の促進

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	団体助成数			( 団体 )			
62	障害者福祉団体 支援事業	【目的】 各障害者福祉団体の助成を図り、 社会福祉活動の推進、福祉の増進を 図る。	・各障害者福祉団体活動 費の助成 ・組織統合について検討 ・肢体不自由児者父母の 会が補助金申請意向なし (令和元年度より)	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	団体助成数			( 団体 )			・団体の実績や活動費を 検討したうえで適切な額 を助成する。
					計画期	第4期		第5期		第6期		
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)			
	計画値	8			8	7	7	7	5			
	実績値	7			7	7	5	5	4			
	【評価の理由】 各団体とも前年度の実績報告、当該年度の交付申請ともに 適正なものと確認のうえ補助金を交付できたため（1団体は 補助申請なし。）。	達成率			80.0%							
障がい者福祉課	【概要】 各障害者福祉団体活動推進のために活 動費を助成する事業。 【助成団体】 身体障害者福祉会（加須・北川辺・大利 根）、肢体不自由児者父母の会、視力障 害者福祉協会加須支部、手をつなぐ親の 会（加須）、聴覚障害者協会											

2 情報バリアフリー化の推進

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	かぞっとメール配信件数			( 件 )			
63	かぞっとメー ル配信事業	【目的】 携帯電話やパソコンのメール機能 を利用して行政情報の提供を行い、 市民との情報の共有化を図る。	・安全安心情報、イベン ト情報、子育て情報、就 業支援情報及び学校配信 情報等を、登録された市 民等の携帯電話やパソ コンに情報の種類別に担当 課からEメールにて配信 ・警察等から依頼された 犯罪、防犯情報等をメー ル配信・防災行政無線か ら、放送内容の自動メー ル配信	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	かぞっとメール配信件数			( 件 )			・引き続き、安全安心情 報、イベント情報、子育 て情報、就業支援情報及 び学校配信情報等を配信 する。
					計画期	第4期		第5期		第6期		
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)			
	計画値	1,200			1,200	1,550	1,600	1,650	950			
	実績値	1,217			1,180	1,322	1,242	802	883			
	【評価の理由】 かぞっとメール配信件数は、前年度と比較して増加した ものの、目標を達成することができなかったため（配信882 件内訳：安全安心情報 297件、子育て情報 171件、イベン ト情報 2件、就業支援情報 10件、幼稚園・小・中学校・保 育園からの情報403件）。	達成率			92.9%							
交通防犯課	【概要】 安全安心情報、子育て情報、イベント 情報、就業支援情報、幼稚園・小・中 学校・保育園からの情報、職員の緊急招 集等のメール配信を行う。 また、登録者数の拡大のため、市HP や広報紙に利用案内を掲載するととも に、市転入者にチラシを配布する。											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	給付等件数(情報・意思疎通支援用具) (件)						
64	障害(児)者日常生活用具給付等事業  【再掲】	【目的】 障がい(児)者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。	・日常生活用具の給付により障がい者の日常生活及び社会生活を支援 ・日常生活用具の給付により障がい者の属する世帯の経済的負担を軽減	2・概ね達成	指標(単位)							・支給申請に対し、内容や要件などを確認し、適正な給付を図る。
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	15			16	10	11	12	10			
	実績値	12			6	11	9	17	8			
	【評価の理由】 視覚障がい者を支援する拡大読書器や聴覚障害者用通信装置など適正に給付されたため。							達成率				
							80.0%					
障がい者福祉課	【概要】 在宅障がい者・児、小児慢性特定疾患児に対して、盲人用時計・移動用リフト・ストマ用器具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。											

3 コミュニケーション支援の充実

65	障害者コミュニケーション支援事業  【再掲】	【目的】 聴覚、音声機能、視覚等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障のある障がい者に対し、意思疎通の円滑化を図り、社会参加を推進する。	・手話通訳者派遣事業運営委員会の開催 ・登録手話通訳者認定試験審査会の開催 ・登録手話通訳者認定試験の実施 ・手話通訳者の派遣(市単独) ・手話奉仕員養成講座の開催 ・手話フォローアップ講座の開催 ・頸肩腕健診	1・目標を達成	指標(単位)	手話通訳者派遣件数 (件)						・登録手話通訳者の増加を図るため、新型コロナウイルス対策を徹底し、手話通訳者養成講座を開催する ・通訳者派遣のコーディネートなどを行う専任手話通訳者を増員し、派遣業務の安定的かつ円滑な運営を図る。
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	258			264	410	420	430	440			
	実績値	304			430	431	448	383	444			
	【評価の理由】 手話通訳派遣依頼に対し、専任手話通訳者及び登録手話通訳者の活躍により、依頼を断ることなく派遣することができたため。							達成率				
							100.9%					
66	障がい者福祉課	【概要】 聴覚障がい者のコミュニケーション支援・情報保障のため、手話通訳者等を派遣する(埼玉聴覚障害者情報センターへ委託)。直営実施のに向けた準備委員会を開催。登録手話通訳者認定試験の実施。また、手話通訳者等を養成するため、社協に委託して養成講座等を開催する。		6・コロナによる影響	指標(単位)	手話奉仕員等養成講座開催数 (回)						・手話奉仕員養成講座と手話通訳者養成講座の間を埋めるための手話技術向上支援のフォローアップ講座や、初めての方を対象にした手軽に参加できる講座を実施し、裾野を拡充を図る。
					計画期	第4期		第5期			第6期	
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	75			75	90	95	90	90			
	実績値	75			72	90	102	52	69			
	【評価の理由】 新型コロナの影響による講座の開催回数の減少のため。							達成率				
							76.7%					



No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

4 移動の円滑な支援

67	障がい者訪問サービス事業 【再掲】	【目的】 障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。	・障がい者訪問サービス費の支給決定 ・介護保険サービスへの円滑な利用の促進	1・目標を達成	指標(単位)	同行援護利用者数 (人)						・利用対象者の多い「居宅介護」や「行動援護」を中心に、適正にサービス提供を行う。
	計画期	第4期			第5期			第6期				
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	-	-	-	-	-	12	
					実績値	-	-	14	12	12	23	
					【評価の理由】	「居宅介護」や「行動援護」を中心に、障害支援区分に応じたサービスを適正に提供することができたため。						達成率
												191.7%
68	車椅子対応軽自動車 の貸出	【目的】 障がい者や高齢者の外出などの利便性向上を図る。	・車いすを必要とする方で公共交通機関を利用することが困難な方へ、車いす同乗車両の貸出。	2・概ね達成	指標(単位)	貸出件数(年間) (件)						・各車両の取扱いマニュアルを全支所で見られるよう共通フォルダに保存するようにし、貸出時のトラブルに対応できるようにする。 ・使用後、ハンドルや椅子、装着ベルトの消毒を徹底し、新型コロナウイルスの感染防止を図る。 ・運転前、運転後にアルコールチェックを行う。
	計画期	第4期			第5期			第6期				
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	280	280	280	280	280	280	
					実績値	342	257	232	246	175	229	
					【評価の理由】	新型コロナウイルスの影響により通院等を控える方が多く、貸出件数が激減した令和2年度に比べ、令和3年度はほぼ新型コロナ前の貸出件数まで増加したため。使用後の車両の消毒など感染防止に努めながら貸出を実施することができたため。						達成率
												81.8%
69	車椅子の貸与	【目的】 障がい者や高齢者の外出などの利便性向上を図る。	・身体障害者や高齢者などで歩行が困難な方へ、一時的に車いすの貸出。	6・コロナによる影響	指標(単位)	貸出件数(年間) (件)						・利用者に対し、申請時の接遇向上に努める。 ・使用後のメンテナンスに努め、常に快適な状態で利用できるよう努める。 ・使用後、ハンドルや椅子の消毒を徹底し、新型コロナウイルスの感染防止を図る。
	計画期	第4期			第5期			第6期				
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)	
					計画値	160	160	160	160	160	120	
					実績値	149	144	146	110	73	92	
					【評価の理由】	新型コロナウイルスの影響により通院等を控える方が多く、貸出件数が激減した令和2年度に比べ、令和3年度は微増したが計画値には満たなかったため。						達成率
												76.7%

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

6 安心・安全の取組

1 福祉のまちづくりの推進

1 バリアフリー化の推進

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等		
70	公共施設バリアフリー化事業	【目的】 誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模改造工事等に併せてバリアフリー化を推進した。</li> <li>北川辺コミュニティセンター整備工事</li> <li>不動岡小学校校舎大規模改造設計</li> </ul>	2 ・概ね達成	指標(単位)	バリアフリー化した改修工事等の箇所数（累計）（箇所）						<ul style="list-style-type: none"> <li>加須市市有施設設計方針に基づき、改修工事等と併せてバリアフリー化を実施する。</li> <li>令和4年度事業</li> <li>不動岡小学校校舎大規模改造工事</li> <li>元和小学校校舎増築設計</li> </ul>	
	建築課	【概要】 加須市バリアフリー条例、加須市市有施設設計方針、市有建築物のバリアフリー化改修方針及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、市有建築物について、大規模改修工事等（新築・改築・増築）に併せて、バリアフリー化を推進する。			計画期	第4期		第5期		第6期			
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)		
					計画値	23	26	29	32	35	33		
					実績値	23	27	27	29	31	32		
		【評価の理由】 北川辺中学校の一部を北川辺コミュニティセンターとして整備するにあたりバリアフリー化を実施した。	達成率	97.0%									
71	幹線道路新設改良事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>【目的】 国道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。 また、渋滞緩和により環境への負荷を軽減させる。</li> <li>安全で快適な道路環境を作るため、加須市管理道路の維持を行う。</li> <li>【概要】 「第二次加須市幹線道路網整備計画」に於いて整備期間を短期（H28・H32）、中期（H33・H37）、長期（H38・H42）に区分し、短期に位置付けた幹線1・2級市道の整備を行う。</li> <li>道路パトロール、自治会や市民からの通報に基づき、直ちに修繕を行う。</li> <li>幹線道路は、路面調査による損傷度等から優先順位を付け計画的に修繕を行い、生活道路は、自治会等から要望が出された路線を「生活道路整備事業評価システム」により事業化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路新設改良工事の延伸を図るL=1,051m（計画）</li> <li>現況測量</li> <li>工事内容等に関する地元、関係機関との協議・調整</li> <li>用地測量・物件調査積算→用地交渉・土地売買契約</li> <li>分筆・所有権移転等 登記</li> <li>路線測量・詳細設計</li> <li>工事発注→施工管理・工程管理・品質管理</li> <li>隣接地権者との施工調整</li> <li>舗装新設工事の実施</li> <li>単価契約工事による道路維持補修工事の実施</li> <li>直営作業による道路維持補修作業の実施</li> <li>道路側溝の維持管理（清掃、補修工事）</li> <li>占用路線等の除草</li> <li>幹線道路を対象に社会資本整備総合交付金による打換え工事の検討</li> <li>道路照明灯水銀ランプのLED化の実施</li> </ul>	2 ・概ね達成	指標(単位)	舗装整備率（%）						<ul style="list-style-type: none"> <li>道路通行の安全性と利便性を図るため、継続路線の早期完成を目指すとともに、損傷した舗装の打換えを実施する。</li> </ul>	
	道路維持管理事業				道路課	計画期	第4期		第5期		第6期		
						年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度(決算)
						計画値	70.1	70.9	71.6	72.4	73.2		74.0
						実績値	69.4	69.5	69.8	69.9	69.9		70.0
		【評価の理由】 道路網整備計画の【拡幅整備】5路線、【交差点改良等】4箇所について事業を実施した。また、舗装の傷んだ幹線道路や生活道路の2・4路線の舗装打換え及び開発に伴う舗装の新設等の工事により道路環境の向上に努めたため。	達成率	94.6%									

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

2 地域福祉による支援

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

72	地域市民活動促進事業	【目的】 協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動ステーションとの協働運営による、市民活動団体への様々な支援(情報提供・機器利用など)を実施</li> <li>市民活動への参加促進のため、フェイスブックや情報誌「くらくら館だより」の発行などにより各種情報を発信</li> </ul>	2 ・ 概ね達成	指標(単位)	障がい者支援を行っている地域市民活動団体数 (団体)						<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動ステーションと連携し、市民活動団体の新規登録の促進を図る。</li> <li>市民活動ステーションの障がい者の方への利便性の向上を検討する。</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期					
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(決算)			
	計画値	7			7	8	8	8	9			
	実績値	7			8	8	8	8	8			
	【評価の理由】	市と市民活動ステーションとの連携のもと、市民活動団体からの相談や団体への育成支援などに取組み、障がい者支援団体数が目標値の8割に達したため。						達成率				
								88.9%				

第6期 加須市障害者計画 進行管理調書（実施状況報告書）

- 6 安心・安全の取組
- 2 生活環境の整備
- 1 防犯・緊急体制の充実

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	協力事業者数 (件)						
73	あんしん見守り サポート事業	【目的】 市内のひとり暮らしの高齢者や高 齢者世帯、障がい者、生活に困窮し ている者、及びその他日常生活の 中で見守りが必要とされる者が安心 して暮らせる地域づくりを目的とす る。	・ライフライン事業者等 からの通報による安否確 認 ・礼状と今後の協力依頼 通知の送付 ・熱中症に関わる見守り を依頼する文書の送付	2 ・ 概 ね 達 成	計画期	第4期		第5期		第6期	・新たな協力事業者の発 掘を行う。 ・ホームページ等にて事 業のPRを行う。	
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度 (決算)
	計画値					55	55	55	58			
	実績値				51	53	53	54	54			
	【評価の理由】 通報案件については、全て適切に対応・処理するととも に、前年度から継続して協力体制の充実を図ることができ たため。なお令和3年度の協力事業者から市への報告件数は3 件であった。							達成率	93.1%			
	地域福祉課	【概要】 ライフライン事業者等がお客様宅を訪 問された際に、郵便ポストに新聞や郵便 物がたまっていたなど、日常業務の範囲 内で何らかの異変に気づかれた場合、市 の安心見守り事業担当部署へ連絡をいた だく。その後、市は関係機関や団体と連 携し、対象者の安否確認等を行う。										

2 居住の確保と住環境の整備

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	住宅改修等需要 促進事業	【目的】 市民の消費を促し、市内事業者へ の工事受注機会を拡大し、工業の振 興及び地域経済の活性化を図るとと もに居住環境の向上を図る。	・自己所有の居宅等改修 工事費用の一部助成 ・定期的な周知・広報 ・制度改正に伴う周知・ 広報（令和3年度より5年 度に1回申請可能へ）	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	申請受付件数 (件)						・コロナ禍であっても申 請が伸びている中、引き 続き広報紙やホームペー ジなどによる周知を図っ ていく。
					計画期	第4期		第5期		第6期		
74	産業振興課	【概要】 市民が市内施工業者により自己所 有の居宅等を改修する場合、その工 事費用の一部を助成する。 ・対象工事：200千円以上（税別） ・補助率：工事費用の5%相当額 ・助成金交付限度額：50千円			年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)	達成率  123.6%
					計画値	330	330	330	330	330	330	
	実績値	239			319	277	319	333	408			
	【評価の理由】 コロナ禍であっても申請件数の減少は見られず、より多く の市民に利用してもらうため、市内事業所に案内資料を送付 するなど、周知・広報を行ったことや、巣ごもり需要など で、前年度と比較し申請件数が333件→408件と増加し た。							達成率	123.6%			

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	----	------------------	---------------------

- 6 安心・安全の取組  
3 水害・震災等への防災体制の充実  
1 災害への備え

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

75	災害時要援護者 支援事業	【目的】 災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協力団体代表者や民生委員・児童委員等の協力及びワクチン接種支援やブロンズ会議等あらゆる機会を通じて「災害時要援護者名簿」の周知拡大と避難援助者登録の推進が図られた。</li> <li>自治協力団体、民生委員等に「災害時要援護者名簿」を提供し、見守り活動に活用</li> <li>新たな福祉避難所の協定締結</li> </ul>	2・概ね達成	指標(単位)	要援護者名簿登録者数(障がい者のみ) (人)						<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ワクチン接種支援やブロンズ会議等あらゆる機会を通じて名簿登録及びマッチングの推進を図る。</li> <li>名簿やモデル地区での名簿活用事例等の様々な情報を地域の避難支援等関係者に提供し、地域における避難支援体制の仕組みづくりを支援する。</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期		令和3年度(決算)	達成率		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	310	92.5%
					計画値	285	290	310	320	330	335	
					実績値	300	326	320	314	314	310	
					【評価の理由】 民生委員・児童委員による高齢者世帯訪問時や、ワクチン接種支援時における障害者手帳所持者への制度の周知を行い全体の登録者数は大幅に増えている中、障がい者の登録者数増につながらず計画値に達成していないが、概ね目標を達成した。							
76	地域福祉課	【概要】 災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。		1・目標を達成	指標(単位)	福祉避難所協定締結施設数 (件)						<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や障がいのある方などが安心して避難できるよう福祉避難スペースの整備・充実や福祉避難所の協定締結を推進する。</li> <li>埼玉県のモデル事業を活用し関係機関と連携を図りながら、福祉避難所への直接避難についての推進を図る。</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期		令和3年度(決算)	達成率		
					年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	28	103.6%
					計画値			20	21	22	28	
					実績値		19	22	27	28	29	
					【評価の理由】 新たに、「グループホーム明日葉かぞ・こもれび」と福祉避難所の指定に係る協定を締結した。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
----	----------------	----------------	------------	--------	------------------	---------------------

2 感染症への備え

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
77	障害者福祉管理 事業	【目的】 障がい福祉関連事業を実施するに あたり、共通する管理費をまとめる ことで各事業を円滑に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉関係の経常 的な管理費の支出</li> <li>北埼玉地域障がい者支 援協議会の負担金支出</li> <li>公用車管理費の支出 等</li> </ul>	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	消毒液備蓄数 (人)					<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉関係の経常 的な管理費の支出</li> <li>北埼玉地域障がい者支 援協議会の負担金支出</li> <li>公用車管理費の支出 等</li> </ul>
	計画期	第4期			第5期		第6期				
	年度	28年度			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (決算)		
	計画値	-			-	-	-	-	30		
	実績値	-			-	-	-	-	17		
	【評価の理由】 新規開設事業所等に消毒液を配給した結果、備蓄が減少し たため。						達成率				
						56.7%					